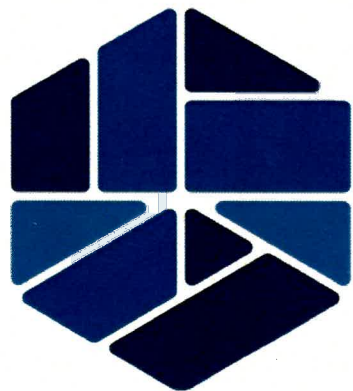


「ローカルSDGsみのかも」= 地域循環共生圏の実現に向けた ソーシャルビジネス創出モデル事業

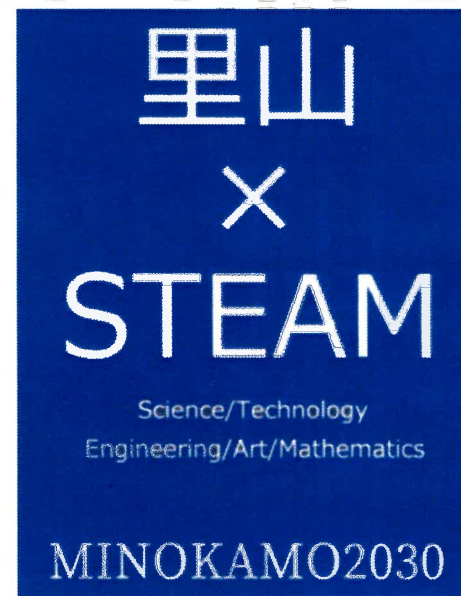
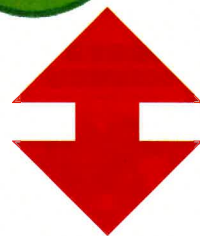


「ローカルSDGsみのかも」= 地域循環共生圏の実現に向けた、「市民生活の充足」及び「地域経済の自律的好循環の実現」を目的として、地域内外の産官金民学の連携を推進・強化しつつ、以下に示す「経済・社会・環境」の各課題に対応するプロジェクトごとに目標を設定する。



Walkable City
Mirakama

～すべての健康のために、歩き続けるまち～



ローカルSDGs
みのかも

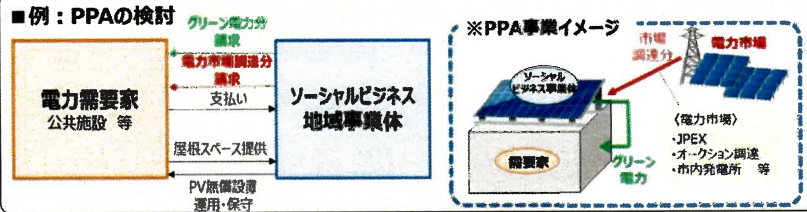


Think Globally, Act Locally

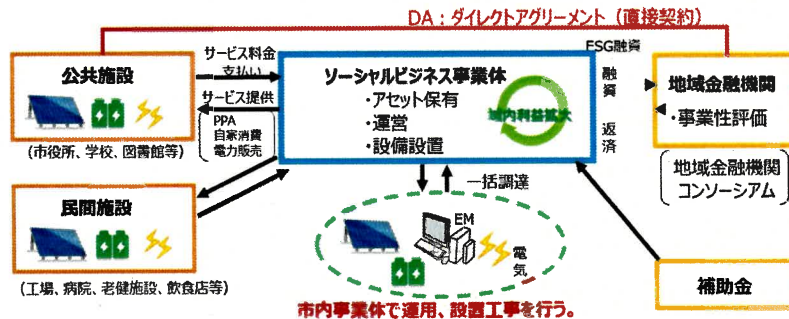
(モデル事業の概要) ソーシャルビジネスの創出

◆エネルギー

再エネの地産地消 ブランディング



金融スキーム (案)



◆観光

新しい観光 …サテライトオフィス事業



利益を生み出す事業

利益の補完

社会に必要な事業

◆交通

市内移動の自由度を向上させる 公共交通のサービス構築

※まちづくりと公共交通の連携

- ・利用者ニーズに即した新しいサービス（買い物支援、見守りサービス等）の展開
- ・既存バス、鉄道、タクシーやシェアサイクルなどの移動手段のシームレス化で利便性の向上

サービスや組織を連携させる取組み

◆農業

里山
×
STEAM

Science/Technology
Engineering/Art/Mathematics

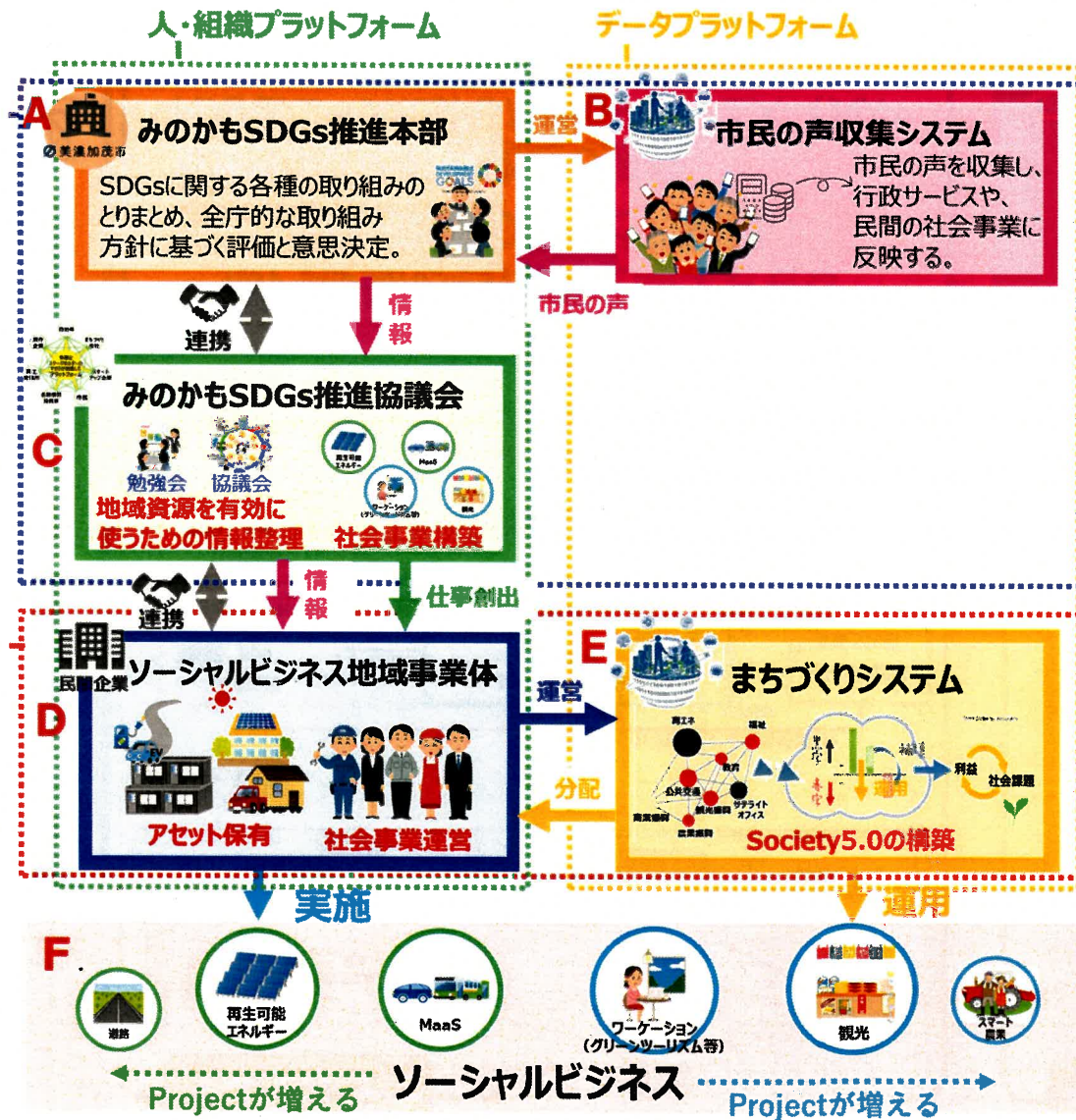
MINOKAMO2030



※里山×STEAM2030

による人材育成

三側面をつなぐ統合的取組（補助対象事業の概要）



民間資金・ノウハウ活用の流れ

A : 「みのかもSDGs推進本部」
 (美濃加茂市)

B : 「市民の声収集システム」

C:みのかもSDGs推進協議会

D : 「ソーシャルビジネス地域事業体」

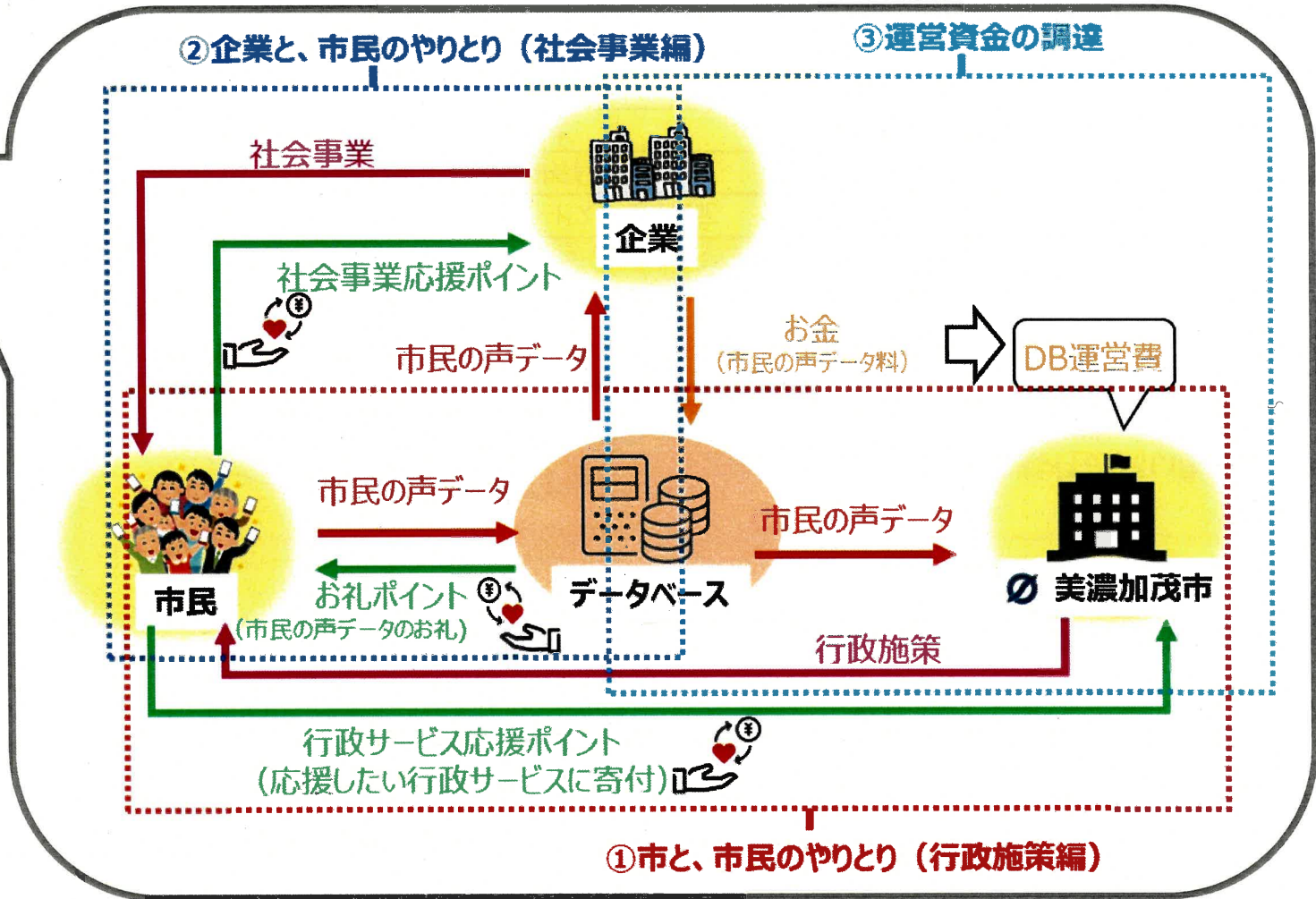
E : 「まちづくりシステム」

F : ソーシャルビジネス

市民の声収集システム

『市民の力を活かすことができるまち』の実現

B 市民の声収集システム
市民の声を収集し、行政サービスや、民間の社会事業に反映する。



収集した情報は…

- ・ **ソーシャルビジネス創出のタネ**となり、**市を維持・発展させていくための**適切な支援に活用。
- ・ **産業イノベーション、既存サービスの再編や、新たなニーズで生まれた公共サービスが、発展を続けていくための資源として活用。**
- ・ 市民へのサービス情報の発信や、市民からのフィードバック獲得のための仕組みとしても活用する。



- ・市
- ・商工会議所
- ・農協
- ・地域金融機関
- ・民間企業

- ・各ステークホルダーの既存事業や活動をベースに、**市内の将来像の構想を共有しソーシャル事業を構築する。**
- ・ソーシャルビジネスに合わせて**各事業ごとに分科会を設置、協議**する。
- ・E : 「まちづくりシステム」を専門家と検討
- ・ESG融資や市内民間企業からの出資・投資の基準や条件を整理。
- ・**クラウドファンディングや地域型ESG投資・グリーンボンド（私募債）を構築**する。



※市内ステークホルダーの出資により設置

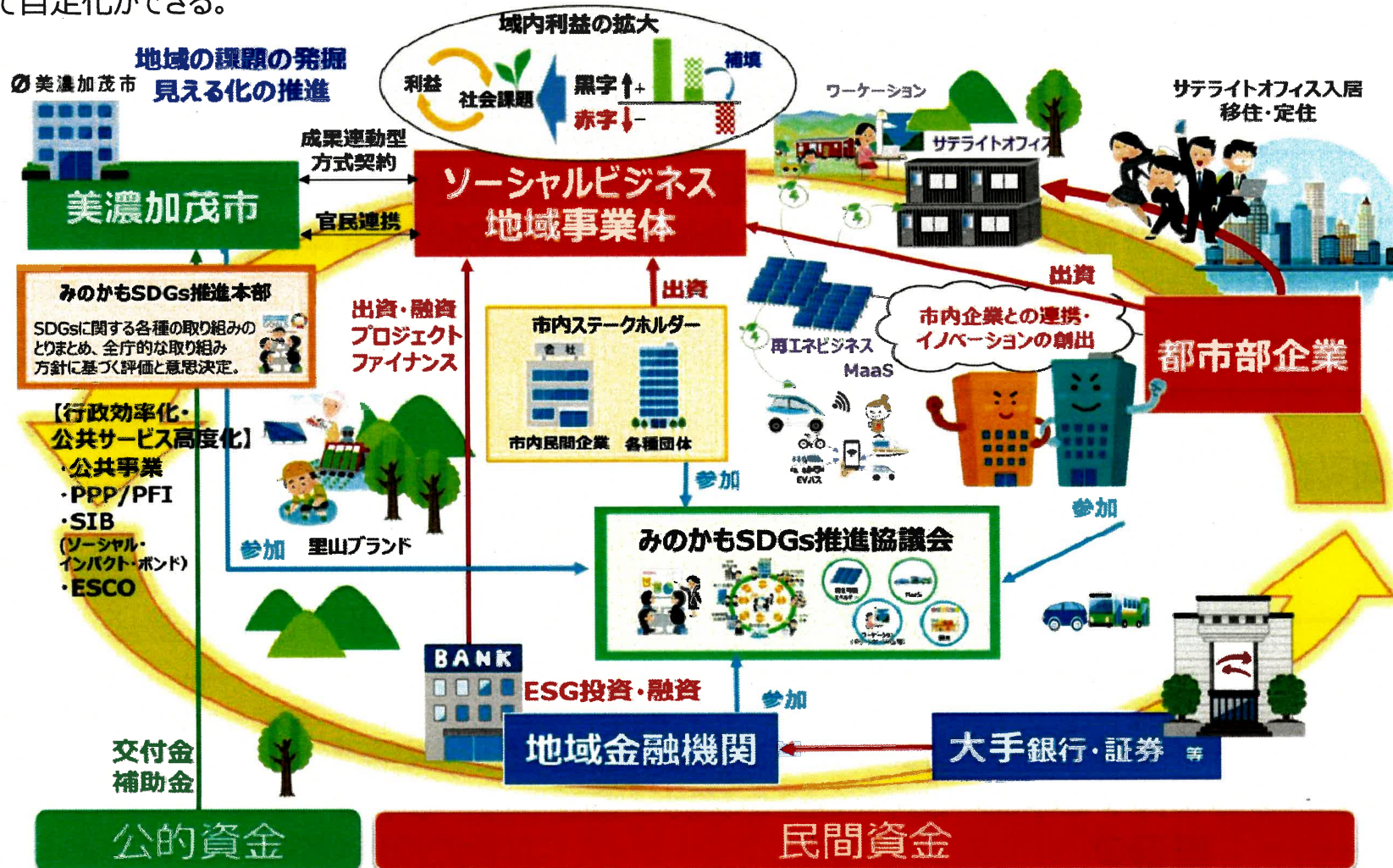


・エネルギー事業などの**収益性の高い事業**によって得た利益を、新たな事業への投資や、**社会性が高いが収益性の低い事業**に回しながら、**利益を地域内で循環**させる。

【業務内容】
・「ソーシャルビジネス」共通サービスの業務対応
・サービスで使用される設備の所有
・E : 「まちづくりシステム」の運営
・ユーザーへの請求業務 など
(2021年～2023年の予定)
・2021年12月頃～パイロット的にサテライトオフィスの運営を開始。
・エネルギー・交通は2023年～2024年ごろの運営開始を目指す。

自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

2030年のあるべき姿「ローカルSDGsみのかも」を目指し、市内の持続可能な社会への変革に向けて、今後創出を行うソーシャルビジネスに非財務的価値やESG要素等も評価し、地域金融機関や市内民間企業からの資金流入等が行える仕組みの構築を行う。市内の様々な事業者が、地域で持続的な事業を展開できるチャンスが生まれ、将来的に補助金による支援に頼らず、事業として自走化ができる。



自律的好循環 (資金の還流と再投資)

自律的好循環の具体化に向けた各パートの役割

■ 自律的好循環の具体化に向けた「ソーシャルビジネス地域事業体」の役割

ソーシャルビジネスを通じて社会・地域課題の解決を図りながら、市内での新たなキャッシュフローを生み出し、得られた収益を市内に再投資することで、市内の既存事業者やソーシャルビジネスの成長と、**社会・地域課題の解決を同時に推進する自律的好循環**を生み出す。

■ 自律的好循環の具体化に向けた「美濃加茂市（本市）」の役割

- ・官民の新たな取り組み手法の導入を行う。
- ・行政として解決手法に手が付けにくい社会・地域課題に対し、**民間資金、民間ノウハウ（SIB実績連動型事業、SIB成果連動型事業、PFI / PPP事業）**を活用して解決に向けた取り組みが行える制度づくりを行う。

■ 自律的好循環の具体化に向けた「地域金融機関」の役割

- ・官民の新たな取り組みとして創出されるソーシャルビジネスへの取り組みを行う民間企業に対し、**ファイナンスを通じて、新たな事業や既存事業の維持・拡大を後押しし、市内企業の成長と社会・地域課題解決の推進の自律的好循環を支える役割**を担う。

■ 自律的好循環の具体化に向けた「みのかもSDGs協議会」の役割

- ・市内の多様なステークホルダーや都市部企業からのアイデア、ノウハウ等をまとめ、**ソーシャルビジネスを構築するプラットフォーム**になる。
- ・地方の先導モデルとなるグリーンインフラを中心としたスマートシティー（Society5,0）を実現するため、分野、地域を越えた官民連携の実証・実装への新たな取り組みを推進。

経済・社会・環境の各側面の相乗効果

～統合的取組によって生じる相乗効果～

◆経済 ⇔ 環境

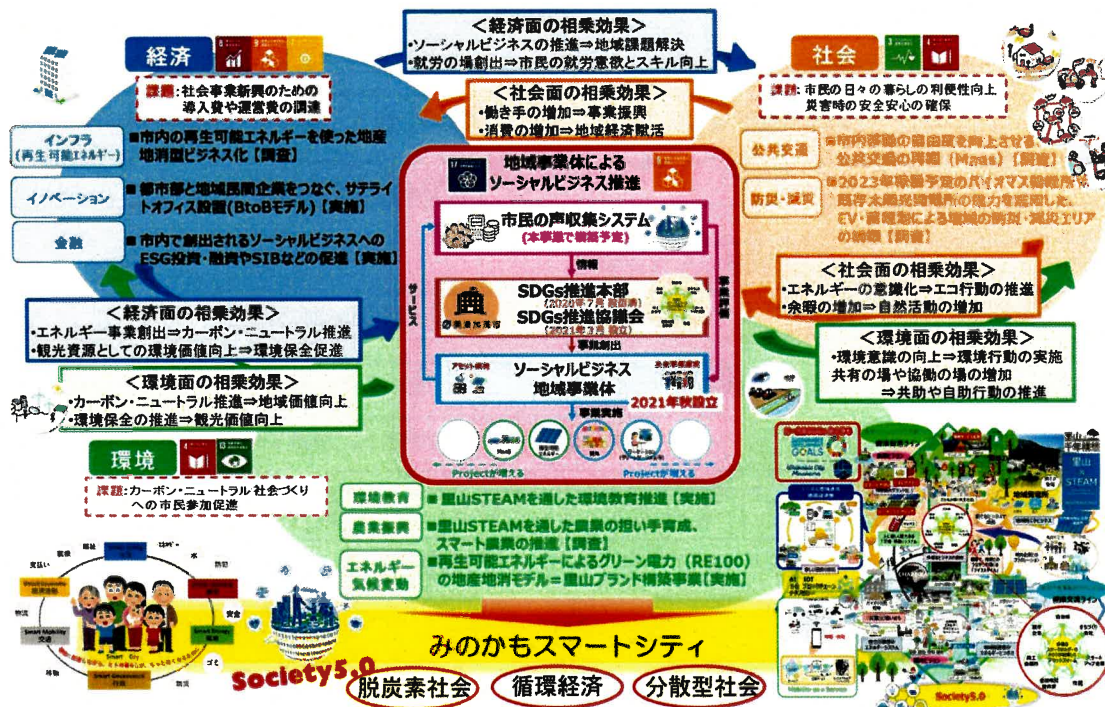
- ・エネルギー事業の推進→カーボンニュートラルの推進
- ・新たな観光資源としての環境価値向上→観光保全推進
- ・カーボンニュートラル推進→地域価値の向上
- ・環境保全の推進→観光価値向上

◆経済 ⇔ 社会

- ・ソーシャルビジネスの推進→地域課題解決
- ・就労の場創出→市民の就労意欲とスキル向上
- ・働き手の増加→事業振興
- ・消費の増加→地域経済賦活

◆社会 ⇔ 環境

- ・エネルギーの意識化
 - エコ行動の推進
- ・余暇の増加
 - 自然活動の増加
- ・環境意識の向上
 - 環境行動の実施、共有の場や協働の場の増加
 - 共助や自助行動の推進



スケジュール

	取組名	2021												2022	2023				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
統合	民間資金ノウハウ活用	スキーム構築、モデル構築					採算性検討					運営（新たな検討・モデル構築）							
		決済システム検討					システム費用の算出					システムの設計・構築			システムの導入・運用開始				
	市民の声システム	アプリの開発・企画					市民への発信					市民への発信			市民への発信				
		意見募集・データ分析					意見募集・データ分析					意見募集・データ分析			意見募集・データ分析				
共通	協議会	SDGs推進協議会の開催（4回/年）												シンポジウム					
		分科会の設置				分科会の開催				分科会のとりまとめ									
経済	再エネ地産地消	補助金の申請			FS調査									MP策定			設備導入 運用開始		
	サテライトオフィス	基本調査		設計		工事		オープン				本格運用							
		成果連動型契約構築				企業マッチング				ワーケーションプログラムの検討・構築				プログラムの提供、企業とのマッチング支援					
社会	交通（MaaS）	既存交通網の現状把握・整理、仕組み検討												MP策定					
		サービス内容の検討・構築																	
	防災・減災	補助金の申請			FS調査									MP策定			設備導入		
環境	環境教育農業	里山の課題解決のための企画開発など												里山の課題解決のための企画開発など					
		総括												各種講座やイベントの開催					
	里山ブランド	担い手対象講座												各種講座やイベントの開催					
		少中高校生講座やSDGsの住民理解のための講座																	
		里山ブランドの構築						サービス開始											
		SNS等による発信																	